

社会福祉法人ヴィオラ

令和 7 年度 事業報告書

【法人本部】

1. 事業概要報告

① 法人運営およびガバナンスの維持

- ・ 役員体制の整備：理事・監事の任期満了に伴う役員改選を適切に実施した。改選直後の理事の急逝という事態に際しても、理事会および評議員会との緊密な連携により、速やかに後任選任の手続きを行い、法人運営の停滞を防いだ。
- ・ 管理体制の統合：すみれ拠点施設長の定年退職に伴い、法人全体での情報共有と意思決定の迅速化を図るため、管理体制の集約化を図った。これにより、拠点間の相互補完体制が強化された。

② 現場の処遇改善とワークライフバランス

- ・ 処遇改善の推進：職員一人ひとりの職務内容を再評価し、公平な待遇を目指した給与規程の改訂を行った。現場職員の理解と協力のもと、職務能力の「見える化」を推進した。
- ・ 休暇制度の活用：職員の自発的な学びを支える「訓練休暇」や家庭との両立を支える「介護休暇」の推進が始まり、実際に活用された。これらは職員が互いにフォローし合う現場の協力体制により実現したものである。

③ ICT 活用によるサービスの質向上と経営効率化

- ・ 介護システムの刷新：「ワイズマン」への移行により、現場での記録業務の負担軽減と情報共有のスピードアップを図った。導入にあたっては現場職員の柔軟な対応があり、今後の業務効率化とコスト削減の基盤が整った。

④ 行政監査への適正な対応

- ・ コンプライアンスの確認：久留米市による指導監査および立入検査を通じ、運営の透明性を再確認した。指摘事項に対しては法人一丸となって改善に取り組み、健全な運営体制を維持していることを理事会へ報告した。

⑤ 財務および資金の安定

- ・ 資金繰りの管理：補助金等の入金サイクルの影響に対し、理事長の多大な理解と協力（無利息借入の提供）を得ることで、円滑な資金手当てを実施した。年度末には予定通りすべての清算を完了し、健全な財務バランスを堅持した。

2. 理事会の開催

開催年月日	出席者数		議 題
	理事	監事	
R7.5.20	6	2	<報告事項> 1. 理事長の職務執行状況の報告 <決議事項> 1. 令和6年度事業報告及び令和6年度計算関係書類等の承認について 2. 『ケアホームつぼみ』管理運営規程の改訂について 3. 役員任期満了による改選について 4. 定時評議員会の開催について
R7.6.10	5	2	<決議事項> 1. 理事退任に伴う新理事の推薦について 2. 評議員会の開催について
R7.6.24	6	2	<決議事項> 1. 理事長の選任について
R7.7.28	6	1	<決議事項> 1. 特別養護老人ホームすみれ施設長の交代について 2. 理事退任に伴う新理事の推薦について 3. 評議員選任・解任委員の選任について 4. 健康情報等の取扱規程の改訂について 5. 評議員会の開催について
R7.8.28	6	2	<決議事項> 1. パートタイム職員給与規程の改訂について 2. 職員給与規程の改訂について 3. 初任給・賃金改定に関する規程の改訂について
R8.3.18	6	2	<報告事項> 1. 理事長の職務執行状況の報告 2. 監督行政による検査結果及び改善状況の報告 <決議事項> 1. 経理規程の改訂について 2. 職員給与規程の改訂について 3. パートタイム就業規則の改訂について 4. 令和7年度1次補正収支予算書について 5. 令和8年度事業計画及び収支予算書について

3. 評議員会の開催

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監事	
R7.6.24	6	2	<報告事項> 1. 令和6年度事業報告について <決議事項> 1. 令和6年度計算関係書類等の承認について 2. 役員任期満了及び退任による改選について
R7.8.8	7	1	<決議事項> 1. 理事退任に伴う新理事の選任について

4. 監事監査の実施

開催年月日	担 当 監 事	項 目
R7.5.8	田住 和也	令和6年度事業執行状況
	立石 利一	令和6年度会計状況

5. 人事

採用・退職

	採用者		退職者		年度末の状況	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職	2	1	3	0	26	2
看護職	2	0	1	0	4	0
清掃、介護補助	0	0	0	0	0	2
その他 (施設長、管理者、相談員、 管理栄養士、介護支援専門員、事務職、医師)	0	0	1	0	6	1
計	4名	1名	5名	0名	36名	5名

6. 実習生等の受入

	人数	期間
久留米筑水高等学校3年生「介護実習Ⅱ」	3名	25日間(6月～7月)
久留米筑水高等学校2年生「介護実習Ⅰ」	3名	23日間(9月～10月)
久留米筑水高等学校1年生「介護実習Ⅰ」	3名	10日間(12月)
久留米大学医学部医学科1学年「施設体験学習Ⅰ」	6名	5日間(9月)

【特別養護老人ホームすみれ】

・ 介護保険法による指定年月日	令和7年5月1日（初回：平成25年5月1日）
・ 指定の有効期限	令和13年4月30日
・ 介護保険事業所番号	4091600827
・ サービス種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
・ 定員	29名

1. 事業報告概要

令和7年度は、入退居の動きが安定する一方で、入居者の「医療ニーズの高度化」が顕著に表れた1年となりました。

① 運営実績

- ・ 入退居状況：入居10名、退居10名（前年度比 各-4名）。
- ・ 平均介護度は3.99（高水準を維持）。
- ・ 年間稼働率：95.83%（前年度比 -1.04%）
- ・ 看取り実績：実施人数3名、平均看取り期間138.0日（前年度より大幅に長期化）。

② 稼働率低下に関する分析・考察

- ・ 入院延日数の増加：稼働率低下の主因は、「入院延日数」が前年度の266日から394日へと大幅に増加したことにあります。
- ・ 医療的重症化：平均介護度は変わらないものの、入院日数の増加や看取り期間の倍増から、疾患リスクの高い入居者が増えていると考えられます。
- ・ 入替効率：ベッドコントロール（入替期間平均4.7日）は迅速であり、空床期間の約9割が入院継続によるものです。

③ 職員体制の状況

- ・ 介護職：年度当初に新入職員1名を迎え、さらに看護職から1名が転換。3名が退職しましたが、年度末日時点の在籍数は前年同数を維持しました。
- ・ 看護職：3名体制を維持するため、職種転換や早期退職による欠員に対し、年度内に計2名を採用（うち1名が定着）。重症化する入居者への対応力を確保しました。
- ・ 管理部門：施設長の定年退職に伴い、事務長が施設長を兼務。新採用を抑え、組織のスリム化と意思決定の迅速化を図りました。

④ 次年度への課題と提言

- ・ 医療連携の再強化：入院期間の長期化を抑制するため、協力医療機関との連携を密にし、早期の退院・復帰支援体制を整える。
- ・ 重症化への対応：介護度以上に医療ニーズが高い現状を踏まえ、看護・介護の連携による「状態変化の早期発見」と「施設内でのケア限界」の再確認を行う。
- ・ 人材の定着支援：常勤職員の退職に対し、業務負担の軽減や教育体制の充実を図り、質の高いケアを維持できる体制を構築する。

2. 職員研修

内部研修 ※地域交流ホール及び ZOOM によるハイブリット開催

	研 修 内 容	参加者数
4 月	法人理念研修／アンガーマネジメント研修	25 名
5 月	感染症（食中毒、ノロウイルス等）予防及び発生時の対応に関する研修・訓練	17 名
6 月	介護保険制度について	24 名
7 月	緊急時・事故の対応に関する研修（AED・心肺蘇生法等）	25 名
8 月	身体拘束、権利擁護、虐待防止の研修	17 名
9 月	排泄ケア研修	19 名
10 月	感染症研修（高齢者施設における感染症予防について）／感染発生時のシミュレーション	19 名
11 月	災害時の対応（BCP とは／机上訓練／不審者対応）	20 名
12 月	リスクマネジメント研修	21 名
1 月	口腔ケアによる誤嚥・肺炎防止に関する研修（さくら歯科）／カスタマーハラスメント研修	20 名
2 月	身体拘束排除・虐待防止・権利擁護研修	18 名
3 月	介護施設における看取りケア実践研修	17 名

外部研修

	研 修 内 容	参加者数
4 月	・ 嚥下調整食セミナー／ホシザキ北九(株)	1 名
5 月	・ 社会福祉施設役職員研修（新任職員研修）2 日間／福岡県社会福祉協議会	1 名
6 月	・ 甲種防火管理新規講習 2 日間／久留米広域消防本部	1 名
	・ 社会福祉施設役職員研修（中堅職員研修）2 日間／福岡県社会福祉協議会	1 名
	・ 特定給食施設等研修会／久留米市保険所	1 名
	・ CareTEX 福岡	2 名
7 月	・ 同和問題講演会／久留米市・久留米市人権啓発推進協議会	1 名
	・ 高齢者・障害者施設における感染症予防研修会／久留米市保険所	1 名
8 月	・ 社外同期づくり「シェア研修」新入社員向け研修／久留米市・久留米市雇用・就労推進協議会	1 名
	・ 社外同期づくり「シェア研修」2 年目社員向け研修／久留米市・久留米市雇用・就労推進協議会	1 名
9 月	・ 技術向上研修 I（高齢者虐待）／福岡県保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課	1 名

	- 介護業務効率化支援セミナー2025／福岡県介護 DX 支援センター - スキルアップ研修（基本研修）効果的な給食管理と栄養管理の両立に向けて／福岡県栄養士会 - 認知症介護実践者研修（9月～11月）6日間／福岡県社会福祉協議会 - 技術向上研修Ⅱ（高齢者虐待）／福岡県保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課 - 飯塚地区最先端 ICT 導入施設 特別養護老人ホーム 施設見学ツアー／クックデリ	1名 1名 1名 1名 1名
10月	- カスタマーハラスメント対策セミナー／あいおいニッセイ同和損保 - 身体拘束ゼロ施設見学会／福岡県保健医療介護部介護保険課 - 管理栄養士・栄養士のための地域共生セミナー／日本栄養士会	2名 1名 1名
11月	- 特別養護老人ホーム等入所者の診療の取扱いに関する講習会／福岡県医師会・福岡県保健医療介護部・福岡県福祉労働部 - 高齢者虐待防止の本質について考える研修会／福岡県	2名 1名
12月	難病相談従事者研修会（神経難病のリハビリテーション）／久留米市保険所	1名
1月	技術向上研修Ⅰ（高齢者虐待）／福岡県保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課	1名
2月	- 中堅・リーダーのための接遇マナー指導と実践スキル研修／久留米市介護福祉サービス事業者協議会 - 中小企業のためのサイバーリスク対策／リコージャパン - 久留米市養介護施設従事者等向け高齢者虐待防止研修／久留米市健康福祉部長寿支援課 - クックデリ ユーザー交流会	2名 1名 1名 1名
3月	- 認知症ケアスタッフ研修／久留米市介護福祉サービス事業者協議会 - DX 総合 EXPO 福岡	2名 1名

3. 感染症

	インフルエンザ 発症者数	新型コロナウイルス 発症者数	その他感染症 発症者数
ご利用者様	0	4	0
職員	0	5	0

4. 行事や余暇活動、地域との関わり

通年	
クラブ活動	制作クラブ（原則すみれショートステイサービス利用者のみ）
各ユニット	誕生会、昼食作り、おやつ作り、おやつバイキング、お菓子のつかみ取り、ドライブ、買物外出レク
季節行事・イベント	
8月	夏祭り
9月	敬老会
12月	おやつバイキング、クリスマス
1月	初詣
2月	節分
3月	ひな祭り

5. 年度末現在の職員の状況

在職者の状況（）は他職種と兼務している者

	施設長	生活相談員	管理栄養士	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	介護支援専門員	事務職員	その他	医師	計
職員数	1	(1)	1	19 (1)	2 (1)	(1)	(2)	1	2	1 (嘱託)	30

資格等の保有状況（複数の資格を持つ職員有）

	社会福祉士	社会福祉主事	管理栄養士	介護福祉士	介護支援専門員	看護師	准看護師
職員数	2	1	1	18	2	2	1

※ 上記の職員数は、パート職員、法人本部及びすみれショートの兼務者を含みます。

6. 利用状況

① 年度末の介護度状況

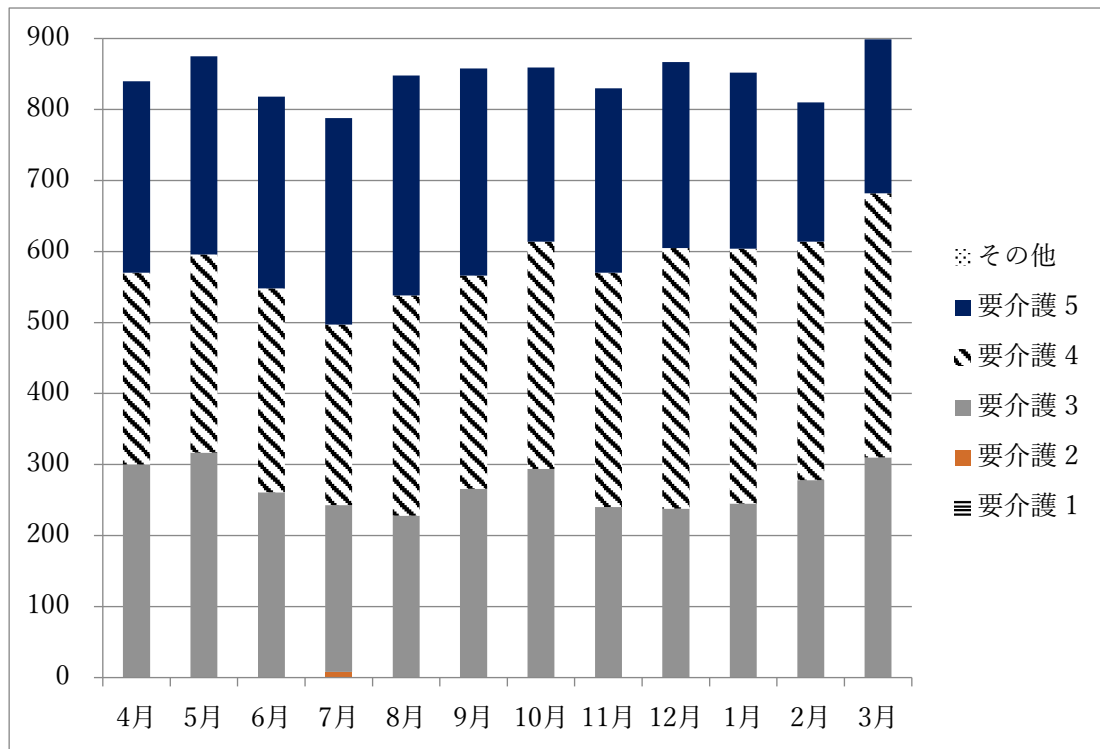
	要介護度						計	平均 介護度
	1	2	3	4	5	その他		
男性	0	0	2	1	0	0	3	3.33
女性	0	0	8	11	7	0	26	3.96
計	0	0	10	12	7	0	29	3.90

② 年間の利用状況

月別、介護度別入居者の推移（延人数）

	要介護度						計	空床日数		
	1	2	3	4	5	その他		入院	入退居	合計
4月	0	0	300	270	270	0	840	28	2	30
5月	0	0	317	279	279	0	875	24	0	24
6月	0	0	261	287	270	0	818	49	3	52
7月	0	8	235	254	291	0	788	110	1	111
8月	0	0	228	310	310	0	848	51	0	51
9月	0	0	266	300	292	0	858	12	0	12
10月	0	0	294	320	245	0	859	32	8	40
11月	0	0	240	330	260	0	830	40	0	40
12月	0	0	238	367	262	0	867	25	7	32
1月	0	0	245	359	248	0	852	23	24	47
2月	0	0	278	336	196	0	810	0	2	2
3月	0	0	310	372	217	0	899	0	0	0
計	0	8	3,212	3,784	3,140	0	10,144	394	47	441

R7 年度特別養護老人ホームすみれ入居者の推移



7. 入居申込の状況

① 年度末現在申込者介護度状況

	要介護度						計
	1	2	3	4	5	その他	
男性	1	0	1	1	1	0	4
女性	1	0	1	3	3	0	8
計	2	0	2	4	4	0	12

② 年度末現在申込者年齢状況

	年齢						計
	～59 歳	60 歳～	70 歳～	80 歳～	90 歳～	100 歳～	
男性	0	0	2	2	0	0	4
女性	0	0	1	6	1	0	8
計	0	0	3	8	1	0	12

申込者の中には、老人保健施設や他の老人福祉施設に入居中の方などもあります。

入居検討会議の開催時には、申込者の意向再確認や状況の変化等の整理を行っています。

【すみれショートステイサービス】

・ 介護保険法による指定年月日	令和 7 年 5 月 1 日（初回：平成 2 5 年 5 月 1 日）
・ 指定の有効期限	令和 1 3 年 4 月 3 0 日
・ 介護保険事業所番号	4 0 7 1 6 0 5 0 6 9
・ サービス種類	（介護予防）短期入所生活介護
・ 定員	5 名

1. 事業概要報告

① 利用実績と稼働率の推移

- ・ 年間延べ利用者数：1,384 名（前年度比 -109 名）
- ・ 年間平均稼働率：75.84%（前年度比 -5.97%）
- ・ 平均介護度：3.67（前年度の 3.16 から大幅に上昇）

② 長期推移から見る令和 7 年度の特徴

- ・ 令和 5 年度並みの低水準
稼働率は過去最低値（75.84%）となりましたが、実質的には令和 5 年度（76.01%）と同水準の横ばい傾向にあります。
- ・ 「7 月稼働率 51.6%」の特異性
年間平均は令和 5 年度並みですが、単月で 50%台まで急落した月は過去 9 年間の安定期で初であり、特定の時期に空床が集中したことが特徴です。

③ 原因の分析・考察

- ・ 長期利用者の退居集中
5 月～7 月にかけて特養へ 3 名が移行。さらに、6 月中旬に期間限定利用（要介護 2）の 1 名が退居したことで、7 月に一時的なベッドの空白が生じました。
- ・ 重度化による調整難
平均介護度が 3.67 へ急上昇しており、要介護 4・5 の重度者が全体の 3 分の 2 を占める現状において、空床を突発的な短期利用で埋める安全管理上の調整に時間を要しました。

④ 次年度（令和 8 年度）への課題と対策

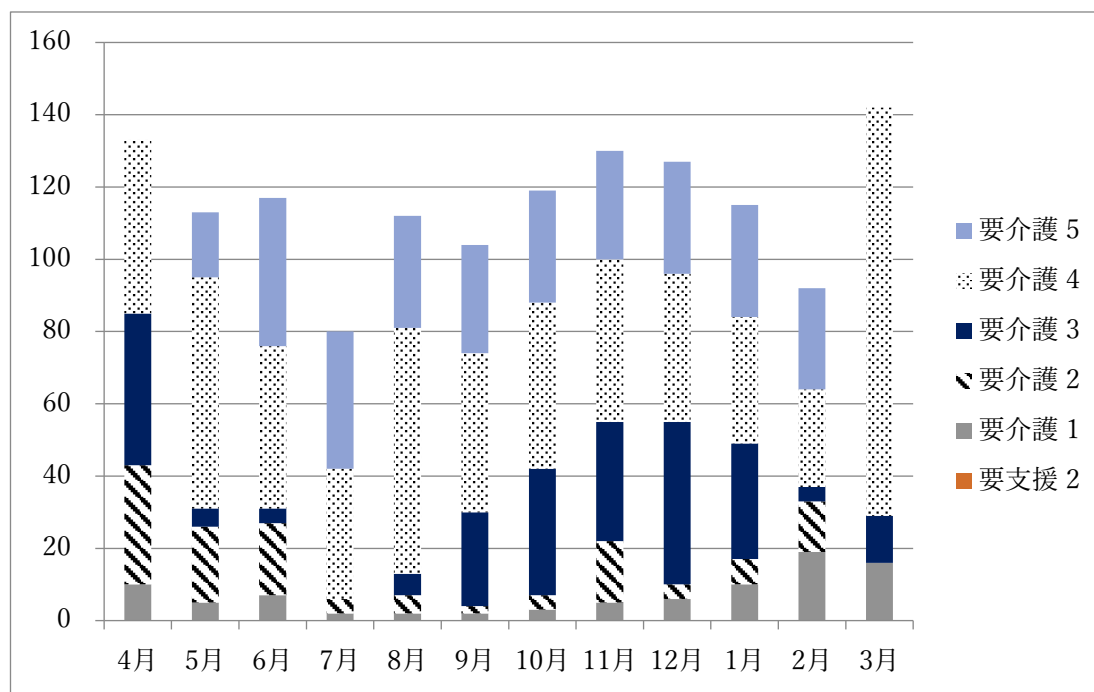
- ・ 退居予測に基づく事前選考
退居確定の「前段階」から次の長期利用待機者への打診を並行し、入替ロスを最小限に抑えます。
- ・ 空床情報のピンポイント発信
長期利用者の端境期に発生する空床情報を地域のケアマネージャーへ迅速に共有し、地域連携を強化します。

2. 利用者の状況

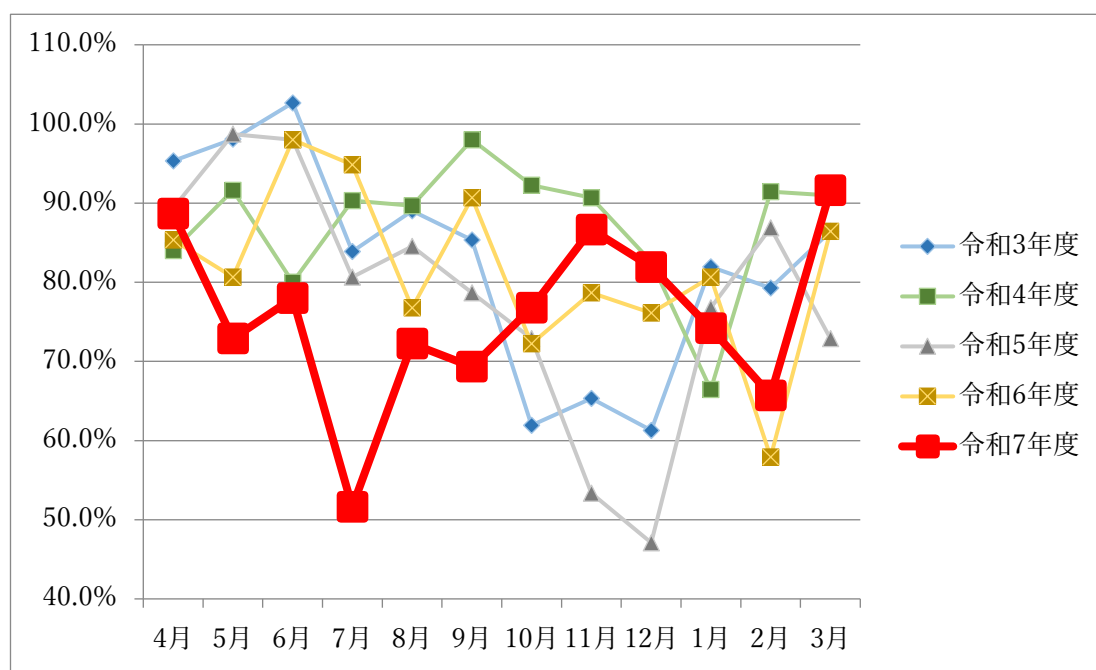
① 月別、介護度別利用者の推移（延べ人数）

	要支援		要介護					その他	計	1日 平均	稼働率
	1	2	1	2	3	4	5				
4月	0	0	10	33	42	48	0	0	133	4.43	88.7%
5月	0	0	5	21	5	64	18	0	113	3.65	72.9%
6月	0	0	7	20	4	45	41	0	117	3.90	78.0%
7月	0	0	2	4	0	36	38	0	80	2.58	51.6%
8月	0	0	2	5	6	68	31	0	112	3.61	72.3%
9月	0	0	2	2	26	44	30	0	104	3.47	69.3%
10月	0	0	3	4	35	46	31	0	119	3.84	76.8%
11月	0	0	5	17	33	45	30	0	130	4.33	86.7%
12月	0	0	6	4	45	41	31	0	127	4.10	81.9%
1月	0	0	10	7	32	35	31	0	115	3.71	74.2%
2月	0	0	19	14	4	27	28	0	92	3.29	65.7%
3月	0	0	16	0	13	113	0	0	142	4.58	91.6%
計	0	0	87	131	245	612	309	0	1,384	3.79	75.8%

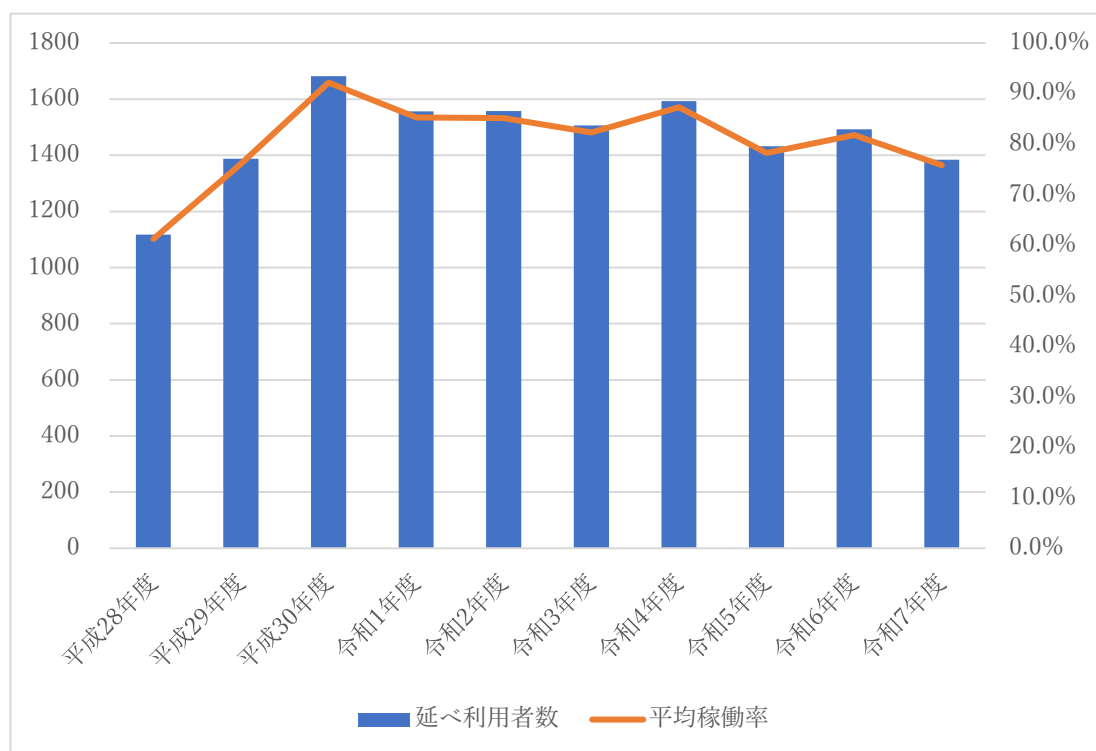
R7年度ショートステイ利用者数の推移



R3 年度から R7 年度の稼働率の推移



過去 10 年間の年間利用状況の推移



【つぼみ】

・ 介護保険法による指定年月日	令和 4 年 4 月 1 日（初回：平成 2 8 年 4 月 1 日）
・ 指定の有効期限	令和 1 0 年 3 月 3 1 日
・ 介護保険事業所番号	4 0 9 1 6 0 1 1 1 4
・ サービス種類	（介護予防）小規模多機能型居宅介護
・ 定員	2 4 名

1. 事業概要報告

① 利用実績と登録状況

当事業所は、同一建物内に併設する住宅型有料老人ホーム「ケアホームつぼみ」の入居者を対象として密接なサービス提供を行うとともに、地域の医療・介護機関と緊密なネットワーク構築に努めました。

- ・ 平均登録者数：23.2 名（前年度 22.87 名から微増）

当事業所の登録定員 24 名に対し、年間を通じて定員枠の大部分を維持しました。5 月・6 月には登録定員上限の 24 名に達しています。

- ・ 平均介護度：1.81（前年度の 1.64 から上昇）

過去 5 年間で 2 番目に高い水準となり、利用者の高齢者・重度化が緩やかに進んでいます。

② 利用者の動向（新規受け入れと終了の状況）

- ・ 法人内連携による終了（2 名）

10 月に要介護 3 と要介護 4 の利用者計 2 名が、同一法人内の「特別養護老人ホームすみれ」へスムーズに入居移行しました。

- ・ その他の終了事由（5 名）

死亡 2 名（要介護 5・要介護 4）、入院後老健転院 1 名（要介護 1）、自宅帰郷 1 名（要支援 1）、自宅改装による期間限定利用終了 1 名（要介護 2）

③ 原因の分析と考察

- ・ 地域ネットワークを生かした新規獲得

地域の居宅介護支援事業所や病院の地域連携室等と密に連携。地域の医療・介護ニーズをキャッチし、ケアホームつぼみへの入居・当事業所の利用へと繋げています。

- ・ 重度化を見据えた外部機関連携の方針

介護の重度化には「すみれ」を紹介し、医療の重症化が進んだ際には近隣の医療系事業所や医療院等を紹介できるよう、日頃から近隣事業所と連携体制を敷いています。

④ 次年度（令和 8 年度）への課題と対策

- ・ 連携ネットワークの維持と即応

平均介護度の上昇（1.81）に伴い、今後も医療・介護の重症化リスクの高まりが予想されます。病院連携室や近隣の医療系事業所と連携し、地域包括ケアを実践します。

⑤ 職員研修

内部研修 ※ZOOM 又はつばみ事務所

	研 修 内 容	参加者数
4 月	法人理念研修／アンガーマネジメント研修	9 名
5 月	感染症（食中毒、ノロウイルス等）予防及び発生時の対応に関する研修・訓練	10 名
6 月	居宅サービス計画書と小規模多機能型居宅介護サービス計画書	11 名
7 月	緊急時・事故の対応に関する研修（AED・心肺蘇生法等）	12 名
8 月	身体拘束、権利擁護、虐待防止の研修	11 名
9 月	介護職員の接遇研修	10 名
10 月	感染症研修（高齢者施設における感染症予防について）／感染発生時のシミュレーション	8 名
11 月	災害時の対応（BCP とは／机上訓練／不審者対応）	8 名
12 月	食事介助について	11 名
1 月	口腔ケアによる誤嚥・肺炎防止に関する研修（さくら歯科）／カスタマーハラスメント研修	7 名
2 月	身体拘束排除・虐待防止・権利擁護研修	8 名
3 月	認知症研修（認知症の基礎・種類、認知症の方とのコミュニケーション）	11 名

外部研修

	研 修 内 容	参加者数
8 月	・ 「リハビリテーションとケア」研修会（ボディメカニクスを用いた起居移乗）／高良台リハビリテーション病院 ・ 久留米市小規模多機能部会研修（事例検討会）／久留米市介護福祉サービス事業者協議会	1 名 3 名
9 月	・ TENA オンライン研修（ケアの基本となる臨床倫理） ・ AI・ICT 活用による介護現場改善セミナー／久留米市介護福祉サービス事業者協議会 ・ 「リハビリテーションとケア」研修会（食べる・飲み込むを考える）／高良台リハビリテーション病院	1 名 1 名 1 名
10 月	・ 在宅医療介護従事者向け研修会（施設における医療対応・医療連携のポイント）／久留米医師会 ・ 介護業界の事例からみる管理者育成（実践的なコーチングで組織が変わる 3 つのポイント、アドラー心理学ベースのコミュニケーション）	1 名 1 名
11 月	・ 養介護者による高齢者虐待防止研修会	1 名

12 月	・ 生産性向上×人材確保で実現する‘好循環’づくりセミナー	1 名
1 月	・ 久留米市小規模多機能部会研修（人材確保の悩み、取り組み方についてのグループワーク）／久留米市介護福祉サービス事業者協議会	1 名
2 月	・ ユマニチュード（優しさを伝えるケア技術）／久留米市介護福祉サービス事業者協議会 ・ 合同部会研修（中堅・リーダーのための接遇マナー指導と実践スキル研修）／久留米市介護福祉サービス事業者協議会	2 名 1 名
3 月	・ 久留米市小規模多機能部会研修（自動車事故のリスクと対策）／久留米市介護福祉サービス事業者協議会 ・ 合同研修（現場と組織を守る「カスハラ・セクハラ」対策講演会／久留米市介護福祉サービス事業者協議会 ・ 施設における医療対応力向上研修会／令和 7 年度福岡県看取り促進事業 ・ TENA オンライン勉強会（コンチネンスマスター養成講座）	1 名 1 名 1 名 1 名

⑥ 感染症

	インフルエンザ 発症者数	新型コロナウイルス 発症者数	その他感染症 発症者数
ご利用者様	0	13	0
職員	0	2	0

⑦ 行事や余暇活動、地域との関わり

通年	
・ 誕生会 ・ おやつ作り（ぜんざい、アイス、クレープ、かき氷、茶巾絞り、南瓜プリン、コーヒー、桜餅風ひし餅等） ・ 料理作り（柏餅風サンド、じゃがバター、雑煮等） ・ 創作活動（紫陽花リース、カレンダー、壁紙、ハーバリウム、てるてる坊主、七夕飾り、ペーパーコスモス、猿面、節分お面等） ・ 体操（ラジオ体操、棒体操、下肢体操、口腔体操、ストレッチ等） ・ 脳トレ（計算、漢字、間違い探し、クイズ等）	
季節行事・イベント	
4 月	外出（花見ドライブ）
5 月	外出（花見）
6・7 月	スイカ割り

8・9月	外出（蓮の花見学）、茶話会
10・11月	敬老会
12・1月	忘年会、マジックショー、外出（初詣）
2・3月	節分豆まき、外出（花見）、コーヒーサロン
地域との関わり	
4月	つばみ防災訓練
6月	鳥飼校区球技大会参加（職員）
7月	鳥飼校区献血参加（職員）
10月	つばみ防災訓練
12月	ニッ橋自治会餅つき参加（利用者、職員）、夜警（職員）

⑧ 年度末現在の職員の状況

在職者の状況（）は他職種と兼務している者

	施設長	管理者	介護職員	看護職員	介護支援専門員	計
職員数	1	(1)	9(1)	1	(1)	12

資格等の保有状況（複数の資格を持つ職員有）

	介護福祉士	介護支援専門員	准看護師	社会福祉士
職員数	11	2	1	1

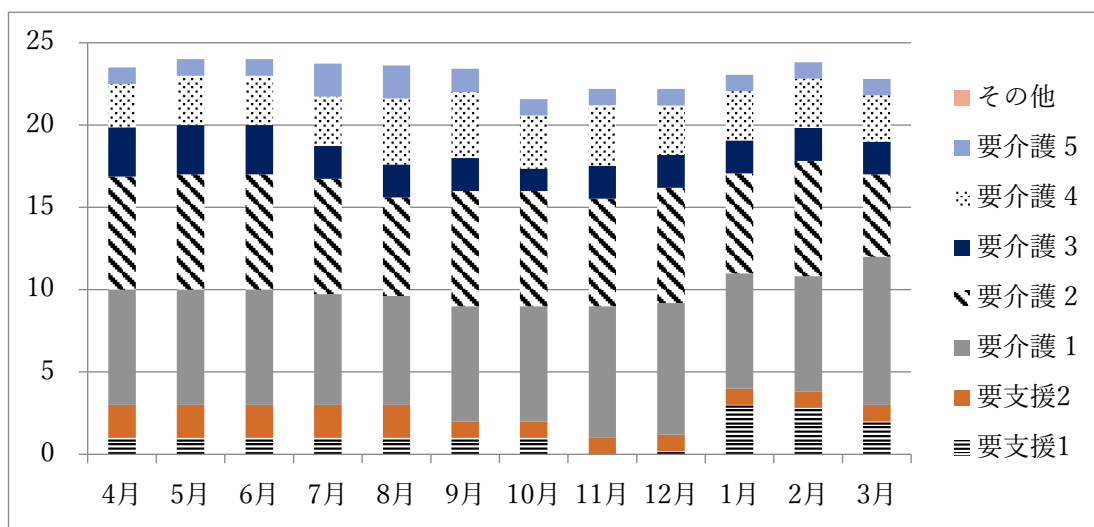
※ 上記の職員数は、パート職員、ケアホームつばみ職員を含みます。

2. 利用者の状況

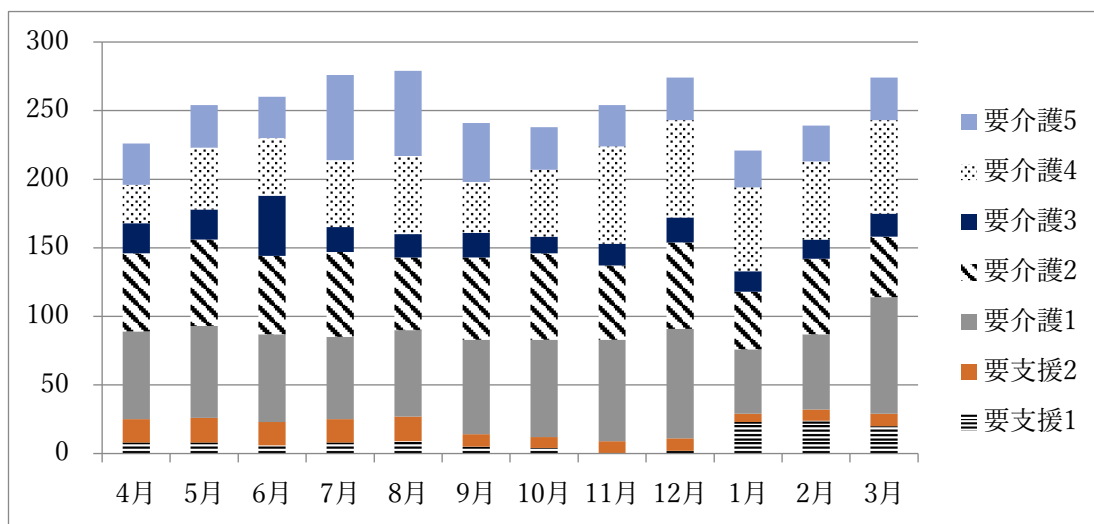
① 月別、介護度別利用者の推移（登録者数）

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
4月	1	2	7	6.87	3	2.63	1	23.5
5月	1	2	7	7	3	3	1	24.0
6月	1	2	7	7	3	3	1	24.0
7月	1	2	7	7	2	3	2	23.7
8月	1	2	7	6	2	4	2	23.6
9月	1	1	7	7	2	4	1	23.4
10月	1	1	7	7	1	3	1	21.6
11月	0	1	8	7	2	4	1	22.2
12月	0	1	8	7	2	3	1	22.2
1月	3	1	7	6	2	3	1	23.1
2月	3	1	7	7	2	3	1	23.8
3月	2	1	9	5	2	3	1	22.8
計	15	17	87	79.46	26	38.33	14	278.0

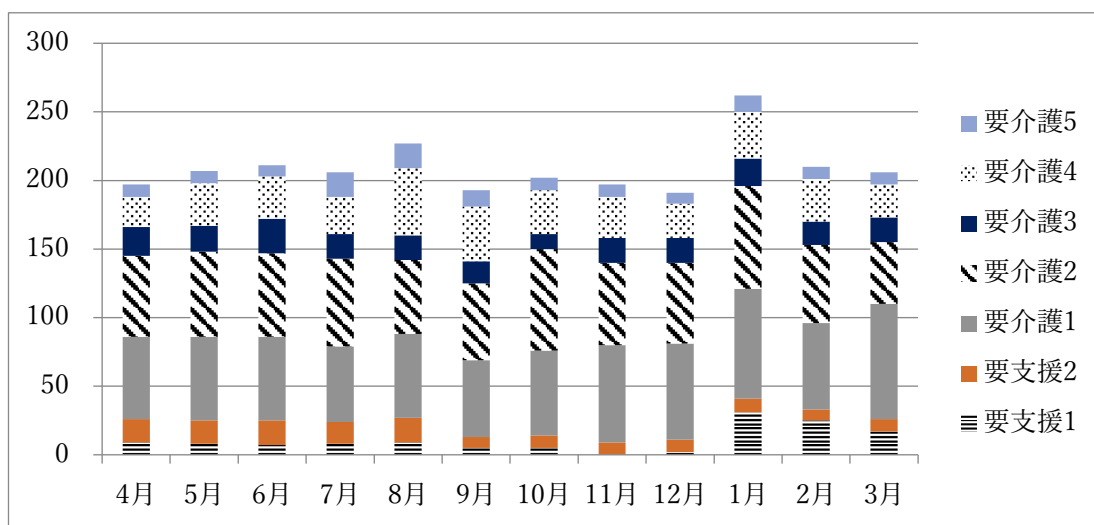
R7 年度つばみ利用者数の推移



R7 年度つばみ利用者数の通い延人数推移



R7 年度つばみ利用者数の訪問延人数推移



【ケアホームつぼみ】

・ 事業開始年月日	平成 2 8 年 4 月 1 日
・ 施設の種類	住宅型有料老人ホーム
・ 定員	2 5 名（2 5 室）

1. 事業概要報告

① 入居実績と推移

- ・ 年間平均入居者数：23.26 名
- ・ 稼働の特徴
 - 4～8 月、2 月は 24.0 名以上の極めて高い稼働を維持
 - 10 月に 21.6 名まで一時的に減少。2 月（24.0 名）にかけて再度回復しています。
- ・ 層別の内訳：一般区分の入居者が中心（平均 21.58 名）ですが、生活保護区分の入居者も年間を通じて平均 1.67 名受け入れています。

② 退居・入院の動向

- ・ 入院からの直接退居（2 名）
 - 7 月：約 1 ヶ月入院後、そのまま 8 月に退居
 - 11 月：医療の重症化から医療系事業所等への移行を検討していたところ、入院され、そのまま 10 日後に退居
- ※ 10 月の在籍数減少は、8 月の退居の影響や、他利用者の特養移行などが重なった時期にあたります。

2. 入居者の状況

① 月別入居者の推移（人数）

	生活保護	一般	計	稼働率
4 月	2.0	20.97	22.97	91.9%
5 月	2.0	20.81	22.81	91.2%
6 月	2.0	21.40	23.40	93.6%
7 月	2.0	20.71	22.71	90.8%
8 月	2.0	21.8	23.8	95.1%
9 月	2.0	22.0	24.0	96.0%
10 月	2.0	22.0	24.0	96.0%
11 月	2.0	22.0	24.0	96.0%
12 月	2.0	22.0	24.0	96.0%
1 月	1.4	22.3	23.7	94.7%
2 月	1.0	23.0	24.0	96.0%
3 月	1.0	22.3	23.3	93.2%
計	21.42	261.21	282.62	94.2%

R7 年度ケアホームつぼみ入居者数の推移

